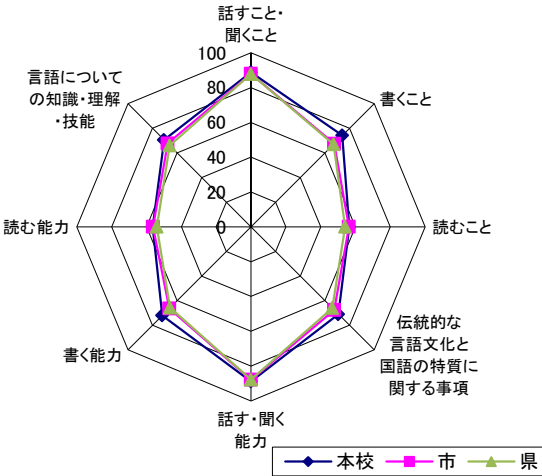


宇都宮市立石井小学校第4学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	88.8	87.9	87.8
	書くこと	74.2	67.6	67.1
	読むこと	56.5	56.3	54.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	71.0	67.6	66.0
観点	話す・聞く能力	88.8	87.9	87.8
	書く能力	72.1	66.3	65.7
	読む能力	56.5	56.3	54.1
	言語についての知識・理解・技能	70.6	67.7	66.0



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話の中心に気を付けて聞くことや互いの考えの共通点・相違点を整理して聞くことに関して高い正答率を得ている。 ○互いの考えの共通点や相違点を整理して聞くことができる。 ●話し方の工夫については、正答率が県・市の平均を上回っているものの、理解がまだ十分でない児童が多い。	・自分の意見を話す場合の効果的な話し方について再確認し、各教科の授業や学級活動などの実際の話し合いの場においてのめあてを明確にして、グループ学習を積極的に取り入れ話し合いの場を充実させる。
書くこと	○招待する手紙を敬体で正しく書くことができる児童が多い。 ○招待する手紙の形式を理解し、あいさつの言葉を書くことができる。 ●読み手に伝えたい事柄を正確に伝えられるように注意して書く力は十分でない。	・読み手に伝えたいことは何かを明確にした手紙を、様々な機会を利用して書くようにする。
読むこと	○与えられた情報から、話し合いの展開を考えて読むことができる。 ○各場面の移り変わりを叙述を基にして読むことができる。 ●物語の場面の様子を叙述を基にして読むことや説明文の文章の理解が十分でない。	・物語や説明文を学習する際に、言葉の意味を確認し、接続詞や主語・述語に気を付けて様子を想像しながら読んでいけるようにする。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○3年生で学習した漢字の読み書きがよくできている。 ○指示後の使い方を理解している児童が多い。 ●日常使われている簡単な単語のローマ字の書き方の定着が十分でない。	・ローマ字を書く機会が少ないため、再度3年生で学習したローマ字を練習する機会を設定するとともに家庭学習でも取り組ませ、繰り返し練習を積み重ねることで定着を図る。